

○ 12月定例所長会見における発電所長挨拶内容

- 所長の設楽でございます。
- 福島第一原子力発電所の事故により、今もなお、大変多くの皆さまに、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。
- 本日、私からは3点お話しをさせていただきます。
- まずはじめに、柏崎市、刈羽村の皆さまを対象として、8月下旬から開始した全戸訪問についてです。今月8日で今年度の訪問活動は終了し、空き家などを除いた約3万2,500軒のうち、65%を超える約2万1,800軒のお宅で直接お会いすることができました。今回は全ての発電所員が参加しており、原子力発電や当発電所についてのご意見、ご要望など、地元の皆さまの貴重なお声を直接お聞きできたことで、所員一人一人の地域・社会目線に対する意識や日々の仕事への意識の向上に資するものであったと感じています。今回いただいたご意見をしっかりと受け止め、当所の事業運営に反映してまいりたいと考えています。
- 次に、当発電所にある複数の避難経路扉の開閉ができなくなっていた件についてです。これは、福島第一原子力発電所の事故を受けた緊急的な浸水防止対策、または管理区域から非管理区域への空気の流れを防止するための気密処理を目的として、コーキングなどの処置を施したために開閉できない状態となったものです。このように、やむを得ず避難経路扉をコーキングする必要がある場合には、本来であれば、事前に関係行政機関に相談を行う必要がありました

が、その事前相談が行われておりませんでした。

現在、類似箇所の調査を行っており、今月中に調査を完了する予定です。今回の事案を踏まえ、現場の適正な管理にしっかりと取り組んでまいります。

- 3点目は、今年14日と15日にサービスホールで開催されるクリスマスイベントについてです。クリスマスにちなんだ工作教室やサンタクロースとの記念撮影など、ご家族で楽しめるイベントとなっています。お子様向けには、発電所で用意した緊急時車両を「はたらくくるま」としてご紹介する発電所見学バスツアーも実施いたします。ぜひご家族でご来場いただきたいと思います。

そして今後も、サービスホールを地域の皆さまの憩いの場として活用し、当発電所を身近に感じていただけるよう努めて参ります。

- 最後になりますが、今年には発電所誘致決議を頂いてからちょうど50年目の年でした。改めて地域の一員として当発電所を受け入れていただいたことに感謝申し上げますとともに、その重みと責任をしっかりと受け止め、所員全員が一つ一つの業務を着実に遂行し、より高いレベルの対応力を養えるよう努めてまいります。

そして、これからも安全を最優先に、地域の皆さまにご安心いただける発電所運営に取り組んでまいります。

- 本日、私からは以上です。

以 上